財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記
該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準
職員の退職給付の支給に備えるため、事業年度末における要支給額を計上している。

(2) 消費税等の会計処理
消費税の会計処理は、税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地	322,503,258	0	0	322,503,258
小計	322,503,258	0	0	322,503,258
特定資産				
運営資金積立資産	9,756,307	0	0	9,756,307
森林林業啓発基金積立資産	50,257,946	0	0	50,257,946
退職資金積立資産	4,600,799	200,000	0	4,800,799
小計	64,615,052	200,000	0	64,815,052
合計	387,118,310	200,000	0	387,318,310

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科　　目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
土地	322,503,258		(322,503,258)	
小計	322,503,258		(322,503,258)	
特定資産				
運営資金積立資産	9,756,307		(9,756,307)	
森林林業啓発基金積立資産	50,257,946		(50,257,946)	
退職資金積立資産	4,800,799			(4,800,799)
小計	64,815,052	0	(60,014,253)	(4,800,799)
合計	387,318,310	0	(382,517,511)	(4,800,799)

5. 担保に供している資産
該当なし

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
該当なし

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
該当なし

8. 保証債務等の偶発債務
該当なし

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時　　価	評価損益
第119回　利付国債(20年)	50,000,000	50,113,550	113,550
合計	50,000,000	50,113,550	113,550

10. 関連当事者との取引の内容
該当なし

11. 重要な後発事象
該当なし